

議会だより

臨時議会

国の補正予算(約14兆円)関連・交付金(約3億円)事業を審議



プール遊びで楽しげな松岡西幼児園児

【発行】永平寺町議会

【編集】議会だより特別委員会

もくじ

臨時議会より	2	議会Q&A	8
予算案審議	3~6	編集後記	8
行財政改革特別委員会報告	7		



平成21年
第4回

永平寺町議会臨時会報告

議長
坂本 伊三栄

国の交付金約3億円の適用事業を審議

今回の臨時議会は、国からの経済対策の名目で「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」約3億4百万円が交付されたため、その用途を議決決定することが主な目的で、急きょ開催されました。補正予算の総額は、その交付金も含めて約3億9千万円が上程されました。

町の説明によると、今回の交付金は3月定例議会で国の第2次補正予算関連で「定額給付金」等と一緒に交付された「地域活性化・生活臨時交付金」約1億5千6百万円とほぼ同様の主旨で交付され、ゆるやかな制限はあるものの幅広い事業に

適用でき、また、原則として今年度内に完結できる事業が対象であるとのことでした。

この補正予算は、国の交付額決定から町の事業選定までは限られた期間であったため、議会に予算書が示されてから臨時議会開催までが異例の短期間となりました。議会では急きょ予算特別委員会に付託することを決議し集中的に審議を行ったが、なお、説明に不十分なところが多かったため臨時会後にも十分な説明を求めることで決議しました。

予算特別委員会報告

委員長 竹澤 一敏

総務費では、自然環境への配慮と燃料費の削減を図るため、公用車を環境適合車や軽自動車などへの更新と、松岡志比堺地区に防災サイレンの設置について、新型インフルエンザの予防対策として、マスクや防護用品、体温計、エアートントなどの整備について、自主防災組織の活動強化のために全ての自主防災組織に防災用テントを整備することについて、**民生費**では、「ほのぼのやさしさ応援手当」事業について、地上デジタル放送化に向けて、幼児園のテレビを地上でデジタル対応のものに入れ替えることについて、**農林水産業費**では、地産地消の拡大や生産振興のため、米粉加工場と加工機械の整備を進めるJAに対し、その事業費の一部助成することについて、**商工費**では、町の大きな観光資源である「曹洞宗大本山永平寺」や松岡古墳群などを明示した観光案内看板の整備

について、**土木費**では、薬師3丁目地係のえちぜん鉄道の踏み切り設置事業について、**消防費**では、一人暮らしの高齢者や聴覚障害を持つ方々を対象に音と光で警報する住宅用火災報知機の設置や救急車の更新について、**教育費**では、小・中学生の健やかな成長を応援する「すこやか子育て応援事業」について、Cランクに位置づけられた小・中学校の耐震補強計画策定について、地上デジタル放送化に向けて、町内全ての小・中学校、幼稚園にデジタル対応のものを整備することについて、新たな学習指導要領に基づく「理科等教材」の各小中学校への整備について、永平寺中学校体育館西側の石積みの改修工事などであります。

慎重なる審議を行い、説明不十分な事案については、早急に補足資料提出を受けることでいずれも全会一致で可決いたしました。

☆平成21年度一般会計7月臨時会補正予算の主な内容☆

(単位:千円)

総務費		消防費	
公用車整備事業 (環境対応・低燃費公用車整備)	7,500	火災警報器設置支援事業	7,185
防災サイレン整備事業	2,184	特殊車両 (救急車) 整備事業	36,000
新型インフルエンザ予防対策事業	7,261	教育費	
地域防災対策支援事業	21,234	すこやか子育て応援事業	65,753
民生費		学校情報通信技術環境整備事業	43,123
ほのぼのやさしさ応援事業	11,600	理科等教材備品整備事業 (小学校)	3,000
情報通信技術環境整備事業	7,281	耐震補強計画策定事業 (小学校)	21,419
農林水産業費		学校情報通信技術環境整備事業	23,008
農産物直売所緊急整備支援事業補助金	49,575	理科等教材備品整備事業 (中学校)	4,000
商工費		耐震補強計画策定事業 (中学校)	9,882
観光案内版整備事業	16,000	安心安全通学路整備事業	5,600
土木費		合 計	391,005
薬師踏切道等整備事業	49,400		

第4回臨時会議案

議案第36号	平成21年度永平寺町一般会計補正予算	可決
議案第37号	松岡小学校屋内運動場改築工事の請負契約締結 永平寺町農業委員会委員の推せん	可決 推せん



袋小路になっている薬師3丁目

農業委員会委員の議会推せん

尚、永平寺町農業委員会委員に議会推せんとして、次の4人を推せんしました。

永平寺町松岡宮重第8号6番地	金元直栄氏	永平寺町諏訪間第20号7番地	岩崎喜代治氏
永平寺町栃原第12号29番地	吉田千年氏	永平寺町山王第19号10番地	鈴木和雄氏

予算案審議

問 新型インフルエンザ予防対策として、膨張式防災エアertent、八百万円と高額だ。本町の体制や医療機関との関係でも、本町にこのtentが必要だという説明がない。普通のtentではダメなのか。

答 新型インフルエンザは秋以降、広がるという見方もあり、今から対策を進める一貫です。インフルエンザへの町民の対応は、直接医療機関に行くというのではなく、町の相談窓口や県の発熱情報センターへまず相談をし、その指導に従うこと。このエアertentは、あくまで第一次の初期的な相談窓口の設置に使うものです。

問 新型インフルエンザ対策、本町ではどのような対応をするのか示した上で、防護マスクは何日、何名分必要なのか。エアertentはどうして必要なのかと、見えるように示すべきだ。

答 また、対応、対策についても議会にきちんと示すべきではないか。
答 町も対策本部を設置し、行動計画を作っています。学校や福祉、水道等の各分野でも、状況に応じた対策をとることにしています。県からの情報も受け、連携を密にしています。

今回は、本町で整備すべきものを備蓄しておきたいと提案しました。

問 県内でも感染者が出た。初期の行動計画から、県や他町との協議の中で対応が変わってきたということはあるのか。

答 国、県、そして町それぞれ対応や役割が定められています。情報が流れてくれば、マニュアルに基づいて行動することになっています。

問 それぞれの備品の単価が、非常に高いが通常のものとは違うのか。

答 専門的な業者の見積もりによるもので、体温計も、耳の中に入れると瞬時に体温がはかれるという特殊なものです。

問 自主防災tentの各区への交付というか、交付要綱などは作られているのか。

答 特に要綱はつくっていませんが、追加要綱とします。

問 自主防災組織として、本当に必要なものを整備すべきで、tentが第一に必要な整備すべきものなのか。

答 何が必要かといいますが、やはり拠点となるもので、指揮本部などが集結する場所が第一で、だれが見ても分かるようにtentの色も考えたいと思います。

問 今回の臨時交付金は温暖化対策、例えば太陽光発電の導入なども含め、考えているということだったが、予算案の中では見られない。

答 他の自治体の取り組みの経験、教訓など資料として集められているのか。また、新規事業については、交付要綱も含め、資料は十分に出してもらいたい。

問 太陽光発電は、学校教育課の方から県に要望しているところで、国庫補助金に関連することから、県の回答待ちとなっているところですか。

答 今回の交付金は、温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安心・安全の実現、その他事業という四つのメニューで消化するということになっています。

問 課長の説明を聞いたが、今回の補正予算の基準になるもの、国の指針を議会に提出してもらいたい。

答 交付金の概要というのは、ものすごく大まかなもので、先に説明したものでしたら、お示ししたいと思っています。

問 福祉弱者に対し、二万円分商品券を支給するというのは、本町の新たな試みか。定額給付金時のように、商工会が絡んで独自のポイントや割引でこれに呼応する商店はないのか。また、交付要綱を資料として出して。

答 要綱については、後で示します。商工会とポイントについては、打ち合わせをしています。店独自のポイント制までは聞いていません。

今回は、JAや社会福祉協議会での利用が可能となるよう協議中です。

問 この事業だけ商品券、前の定額給付金は現金で支給した。町が初めてこれをやる意味合いの説明を願いたい。

答 これまで子供さんなどへの手当ての支給も、現金として直接的な取り扱いをしてきましたが、多目的に使っていただけたらと思います。商品券にしました。

問 今回の緊急経済対策として、幼稚園、幼児園、小中学校では、デジタル化でテレビ等を入れ替えるが、本庁や支所等はいつごろ行うのか。

答 公共施設は来年以降、順次計画的に更新を予定しています。

問 デジタル化に伴うテレビ等の交換は、学校も含めると約二百台になる。金額も七千数百万円となるが、どのような発注をするのか。緊急経済対策でもあり町内業者で対応すべきだ。

答 テレビ等の購入は町内業者でと考えています。台数が多いこともあり、町内業者の供給能力についても十分に調査しなければならぬと思います。



消費拡大に取り組む商工会のイベント

問 国は、前回、四才、五才児の第二子以降の子供に三万六千円の支給を行いました。対象以外の子らには町として同額を支給してきましたが、今回、国は前対象以外の子らへの支給を決めたことから、対応はどうするのか。

答 子育て子ども応援手当は、国の補正が通ってはいるものの、要綱等については、はっきり示されていません。本町での予算化は九月議会になるかと思っています。

問 子育て対策では、国の要項を見ていると、例えば家庭支援スタッフ訪問事業や妊婦出産前支援事業等々、細かな事業にも充ててよいとなつて

いるが、町の予算では、いわゆる事業に使うというようにはなっていない。どうしてか。

答 子育て支援事業、本町ではいろんな事業をやっています。それら事業は、県や国の補助等により行っていることから、一年限りとなるこの交付金は考えませんでした。

問 農産物直売所整備への補助に關し、配布された計画書を見ると、共感できる点も多い。これほどの計画があるのなら、関係者から直接説明が欲しかった。直売所の開設で、町内の小さな食品店などに影響はないのか。

答 今回の事業主体あくまでJAです。農産物の直売所は、先の全員協議会での説明の通りです。参加団体等で運営協議会を一月に設置の予定で、この九月には第一回の準備委員会を立ち上げると聞いています。

問 農業者の立場から言うと、生産者と消費者が直に結び付いて、いい施設になるのではと思っている。中で米パンを作ると聞いているが、学校給食に使うことはできないのか。

答 今回の直売所には、米製粉機が設置されることになっています。国も生産調整の中で米粉には力を入れており、米粉を使った加工品を検討しているようです。学校給食への利用については、今後の課題です。

問 直売所では、「喜ね舎」が知られていますが、農協の進出というか、取り組が遅すぎる。施設についても unnecessaryなものは省くべきだ。取り組みも農商連携でやるべきで、その方がアドバイザーが大きな力を発揮するのではないかと。それに計画によると、準備期間が短かすぎるのではないかと。

答 何回も申し上げているように、あくまでJAが事業主体です。我々のヒアリングでも陳列スペースが狭いのではないかとという話が出ました。この図面は確定したものではありません。

年間を通じて販売するため、加工にも十分取り組む計画と聞いています。

準備期間については、今回、国の経済危機対策として県が交付金を付けたことにより、緊急事業を立ち上げたこともあり、今後、準備委員会や運営協議会と協議しながら進めるとJAより聞いています。

問 町宣伝の看板ですが、千五百万円で三ヶ所といっても、どんな看板をどこに立てるのか。できたら、特にアジアの人にもわかる看板にしたい。

答 これから規模や大きさも検討していくんですが、上志比インター付近と、鮎街道、JA本所付近の三ヶ所を考えています。特に永平寺の案内では、中国語や韓国語を入れるの



農産物直売所予定地の旧Aコープ医大前店

は斬新ではないかと思えます。今後、鯖江のめがねの看板のように、本町でも中部縦貫道の山の上へ看板を立てたいと思っています。

問 看板については、大学病院の案内も分かりやすくしていただきたい。

答 サンサンホールもわからないという人もいます。まだまだ行き届かない点もありますので、近々看板について十分検討していきたいと思っています。

問 薬師踏切の設置は、旧松岡町時代からの課題でした。よくぞいろんな課題をクリアできたなど、ここは評価したい。しかし、こういう大きな話が進んでいるのなら、解決のめ

どがついた時点で、議会に状況を報告すべきだ。それに町内の説明会が七月六日に行われている。逆ではないか。

また、今回の計画と、車を通すことを含め、全体的な計画を議会に示していただきたい。

答 薬師三丁目の踏切の話ですが、この間、七月六日に区へ話しました。それは踏切を設ける場所の問題と、踏切の信号音のことがあり、事前にお聞きしなければと区に行かせてもらいました。特に国道との関係で、事故のこともあり、県警や永平寺署、県土木さらにはえちぜん鉄道、中部運輸局との協議もあり、なかなか決定できませんでした。今は了解を得ています。

基本的には、とにかく踏切を設置するようにし、その後、各種課題をクリアし、車を通したいと思っています。

問 国道も歩道も改修しつつ、車も出入りするような計画となると、今後、総額でどれくらいになるのか。

答 一番いいのは、国道に信号を設置し、福井、勝山両方向を出られるようにするのが一番良いのですが、信号の設置は、県の予算のこともあり無理と言われています。県の予算もかわることから、検討しつつ進めたいと思います。

問 子ども一人当たり三万六千円の給付は、子育てしやすい町とはいえず、国のバラまきと同じではないか。今回は小学一年から中学三年生までへの支給だが、小学一年生は前回ももらっているため、二度もらいになるのではないか。

答 三月に町で、わがまち子育て応援手当を出しました。その時の子らが一年生になっていますが、今回はすこやか子育て応援事業と、別事業ですから小学一年生から中学三年生まで支給します。

問 すこやか子育て応援事業、取り組むのは良いが、高校生や大学生こそ一番金のかかる世代、奨学金等を独自に設けてはどうかと思う。小学一年生は、昨年と二重支給になるのは不公平。できたら、そのお金で例えば高校生の電車通学への補助等に使うてもよいのではないか。

早く議会に事業内容の相談をしていけば、もっと豊かな内容になったのではないかと。

答 各種事業では、施行日の期日によつて不公平が生じることもあり得ると思っています。しかし、制度設計の中で一番大事なものは、公平性を確保するのは当然です。

問 今年二月一日生まれ以降の子には、子育て応援手当は支給されませんでした。その子らへの対応はどうするのか。

答 基準日以降に生まれた方は、二十五名程います。その方たちへの対応は上司とも相談を重ね、検討します。

問 学校の耐震補強工事何校か分の設計が出ているが、実施設計は今回入っていないのに、金額が高すぎないか。

答 実際、パーセントで設計しているものではなく、県下統一的な仕様に基づいた設計で行われています。

問 学校のデジタル化の中に、電子黒板が含まれている。テレビのような成熟産業と違い、先端技術の機器は、耐用年数など心配だ。高額商品でもあり、どうなのか。

答 文科省の補助金には、各校に一台ずつ電子黒板をとということなので、学校にも必要かどうかを問い合わせたところ、英語の授業には最適なものだと言われました。学校単独でも買いたいという要望もあり、良いものだと思います。



松岡小学校屋内運動場 改築工事請負契約締結

問 松岡小学校体育館改築の請負契約は、条件付き一般競争入札とあるが、どんな条件をつけたのか。入札では設計額は公表されているのか。

答 今回は、二社による特定建設共同企業体とし、町や県の入札参加資格名簿に登録され、県土木管内に主たる営業所、本所を有していること。県の格付けがA等級であり、平成六年度以降、県内で元請けとして建築物で三億円以上の工事を施工した実績を有すること等で、代表者以外の構成員は、施工実績は問わない等で

設計額は、入札の公告の中で公表しています。

問 解体も含め、この夏休みから始まるんだらうと思うが、長期間の工事、また住宅地でもあること、当然子供たちの授業や地域住民の生活にも支障もあると思うが、対策、対応はどのようにされているのか。

答 工事中は周辺にご迷惑をかけると思いますが、先日、業者とも打ち合わせを行い、通学、通園の時間帯には車両を入れないとか、下校時には交通誘導員を配置すること、幼稚園のお昼寝の時間帯には音を出さないようにと、業者を集めて指導しま



夏休み中に解体がすすむ松岡小学校体育館

した。
地元住民への説明は、明日開催します。工期は来年八月三十一日までとなっています。

問 この改築工事は、解体や電気関係の分離発注も含め、総事業費は幾ら程になるのか。

答 合計で約四億七千万円で、今年度分の国への補助要求額は約三千万円となっています。

問 今回、やっと分離発注となったが、受注業者はいずれも町外業者との程度町内業者が下請けに入れるのか。

答 町内業者の下請けについては、告示したものにも書いてありますし、特記仕様にも書いてあります。先日、業者を集め町内業者を使ってくださいたとは申し上げました。できるだけ配慮しますと聞いています。

問 受注者の体育館での実績はどんなものがあるのか。

答 業者の実績については、丸岡中学校の校舎、体育館の改築工事に携わっています。

平成二十一年度 町一般会計補正予算案 本会議での審議

問 国の緊急対策交付金の目玉となっている、環境対策への取り組みが見られないが、取り組みへの論議はされたのか。大胆に取り組みべきではなかったのか。

答 環境対策についても、町は町なりに交付金に基づいた温暖化対策や省エネ対策といったところで、自然環境に配慮した予算措置だと考えています。

問 審議の中で見えてきたが、例えば小中学生の交付金でも、つい何ヶ月前に五才児で給付を受け、今回も給付と重なる部分は不公平。もしそんなことがあるのなら、重なる部分の予算を、高校生の公共交通機関

での通学への補助をすべきだ。
答 すこやか子育て事業の公平性の問題ですが、高校生の通学の補助に比べればよいのですが、今、本町で緊急性を考え、地域経済の活性化への貢献からも、優先順位を考え対応したつもりです。

問 国の要綱では、少子高齢化への対応ということで、介護施設の緊急整備や保育所の整備が入っている。本町の今の大きな課題として、介護施設、特にデイサービスセンターの改修は急ぐべきだと思うが、今回の予算では考えなかったのか。

答 介護施設の整備については、今回計上していませんが、今後またいろんなことで計上させていただきたいと考えています。



町内3ヶ所で実施された町民ラジオ体操

議員定数と 議会改革

当委員会は、行政が行う行財政改革の推進と、自ら行う議会改革の2つのテーマについて協議しています。とりわけ改選1年前の今、合併協議会で「次の改選時には議員定数を20人から18人に減らすべきである」という答申をいただいております、そのことについて集中審議をしています。

そもそも議会には、行政のチェック機関としての役割があります。そのために必要な議員数として、地方自治法により町村については人口段階に応じて12人から26人の間で上限値が定められていて、本町は26人が上限値とされています。しかし、自治体の財政窮迫と地方議会への不信感の相乗作用によっては、ほとんどの町村が減数条例を制定しています。

審議の途中ですが、主な意見を紹介します。

- ・合併協議会の答申は尊重すべきである
- ・自治体にはある程度議員が必要である
- ・合併してまだ4年が経過したところで、極端な削減は好ましくない
- ・市議会議員は専業で行えるだけの報酬があるが、町村議員は低い報酬で行っている。特に本町は県下でも低い方で、削減は最小限にすべきである
- ・合併時より人口が徐々に減っているし、財政状況は予想以上に悪くなっている。協議会の18人よりもっと削減すべきである
- ・隣の勝山市は定数十六人である。それ以下にし、町民の理解が得られるのであれば、活動費を設けてはどうか。
- ・町長選挙と同日選挙にし、選挙経費を削減すべきである
- ・議員定数を削減するより、議会活動の改革を行い、議会の役割をもっと果たすべきである
- ・議会基本条例を制定し、町民に議会活動をもっと知っていただくべきである
- ・議員は町民の各界各層、サラリーマンやご婦人層などから立候補できるよう、削減せず門戸を広げ、休日や夜間の議会開催すべきである
- ・議員報酬をもっと下げるのも一つの方法である

次の委員会では、意見を集約したいと思いますが、ただ単に定数を何人にするのではなく、町民の方に納得していただける議会の在り方、議会改革を具体的に示されるよう努めたいと思います。

議会 Q&A Part1



議会に関する、なぜ? どうして? にお答えします!

Q. 永平寺町の議員の報酬は、どれくらいですか?

A. 議員の報酬については、色々論議されていますが、当町の議員報酬は、月額22万円です。また、よく取りざたされている政務調査費は、市会議員には支給されていますが、町会議員には支給されていません。(解りやすいように、他市町や、永平寺町長の報酬の表を掲載しておきます。)

Table with 9 columns: 人口(人), 議員数(人), 年報酬(万円), 月額報酬(万円), 期末手当, 旅費(万円), 旅費(万円/人). Rows include 永平寺町, 南越前町, 越前町, 池田町, 美浜町, 高浜町, おおい町, 若狭町, あわら市, 勝山市, 坂井市, and 永平寺町長.

*福井市は年報酬が、他市に比べ2倍の1,000万円を超える報酬なので、比較しませんでした。

Q. 永平寺町の議員の年齢構成はいくつですか?

A. 地方議会議員の年齢や、世代構成については、なぜ若い世代や女性議員が少ないのか論議されています。若者や、女性の目線にたった声が、議会の活性化や町行政の施策に反映されると確信しています。要因としてはいろいろ考えられますが、改善が必要であり、全国的にも論議と改革風潮が、高まっています。当町においても、若い世代や、女性の進出要望の声も多くなってきています。(解りやすいように、県内の議員構成の表を掲載しておきます。)

Table with 17 columns: 25歳以上30歳未満, 30歳以上40歳未満, 40歳以上50歳未満, 50歳以上60歳未満, 60歳以上70歳未満, 70歳以上80歳未満, 80歳以上, 合計, 最少(歳), 最長(歳), 平均(歳). Rows include 永平寺町, 南越前町, 越前町, 池田町, 美浜町, 高浜町, おおい町, 若狭町, 合計, あわら市, 勝山市, 坂井市.

参考: 県町村議会議長会より



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。衆議院が解散し、選挙戦がスタートしました。景気低迷の今日、「国会は何をしてくれるの」、「国会議員はだれのための議員」、ほんとうに、国のため、「私たちの生活を守ってくれているの」、政治不信から、「議員なんて本当に必要なもの」、そんな声が聞こえています。

私たちが町議会議員選挙は来年の夏、議会批判は、我々地方議員にも同様であります。もし議会がなかつたら、首長や、行政の自由三昧、やりたい放題、資金がなくなれば、増税?... 議会の使命は「行財政運営の監視と批判」そして「政策の最終決定」を行い、地域の声を、的確に伝え実践するのがその職務であります。

議員として、その人格と誇りを持って、その職責を果たすほんとうの「議会人」が、求められています。選挙という方法を、とおして本当の「議会人」を選ぶのが、皆さん、有権者であります。(斉藤 記)

議会だより編集委員

委員長 副委員長 委員

- 小川河原金原松河 畑川元田川合 伊登則直武正永 三喜 伊登則直武正永 雄誠栄男男栄紀樹充伝